

新城の風 第42号

長崎県立壱岐商業高等学校
壱岐市勝本町新城西触282
電話：(0920)42-0205
FAX：(0920)42-0024

高校生と社会人の違い

校長 中園順喜

就職試験の面接で「高校生と社会人の違いはなんだと思いますか？」と質問する事業所が多くあります。皆さんだったらなんと答えますか。面接練習で聞くと、ほとんどの人が「責任の重さだと思います」と答えてくれます。たぶん、高校生が答えるものとしてこれが正解でしょう。社会人は雇い主から給料を貰って仕事をしています。雇い主が給料を出すのは、責任を持って仕事をし、社会の役に立ち、それが会社の利益になってほしいからです。

私は「高校生」である君たちと過ごし、「社会人」として生活をしていますので、もう少し違いが見えます。一つは、「高校生は大人から守られている」ということです。授業中に具合が悪くなった時、保健室に行けば養護の先生が看てくれますし、家に帰す時には担任の先生が家に連絡、家の方が学校まで迎えに来てくれます。多くの大人が君たちの面倒をみてくれます。ところが社会人になると、仕事で具合が悪くても、仕事という責任を背負っているのです。簡単に休むことはできません。ちょっと無理しても頑張ろうと思うことが皆さんの言う「責任の重さ」なのです。ですから、普段から自己管理を怠らず、健康には十分に気をつけ、自分を守るの自分しかいないのだという意識を持つことが大切です。

もう一つは、「理不尽さ」です。君たちは先生から叱られた時、「理不尽さ」を感じることもあるかもしれませんが、学校の先生は「教育」が仕事ですので、高校生を叱る時にも君たちが立派な社会人になれるようにと考えながら、教育的に叱っています。しかし、社会に出たらそうはいきません。一般人にとっては「社員教育」という名のもと、厳しく指導することもあります。時には徹底的に人格を否定する人もいて、君たちが先生に感じる理不尽さとは比べものにならないと感じることもあるでしょう。社会人は、それにも堪える強い心、めげない心を持たなければなりません。

やりたくない仕事でも、わがままを言わずにしなければならないこともあります。高校生なら先生に反抗しても学校に登校できますが、社会人は上司の命令に従えないなら会社を辞めざるをえなくなることもあるでしょう。高校生と社会人の違いは「厳しさ」です。

しかし、もっとも違うのは、もしかしたら「やり甲斐」かもしれません。「達成感」といっても良いでしょう。努力して何かを成し遂げた時の達成感は、「もっと努力して、もっといい仕事をしよう。また誰かに喜んでもらえる仕事がしたい」と、君たちを意欲的に仕事に向かわせる原動力となってくれます。

3年生は今、自分の将来について真剣に考えていることなのでしょう。自分にはこれがむいていてという職業に就いたとしても、やり甲斐を感じられるようになるまでは、しばらく時間がかかることもあります。それまでは、責任の重さを感じながら、理不尽さや厳しさに堪えて頑張ってみましょう。いつか喜んで仕事ができる日がやってきます。理不尽な扱いや厳しい指導を受けなくなる日が必ず来ます。その時、一人前の社会人となるのです。

再びの全国情報処理競技大会出場 山下雄二君 今年こそ入賞だ！



私は2年連続の全国情報処理競技大会出場です。勝本中（鯨伏地区）のころからコンピューターに興味があり、中3で高校を決めるときは、迷わず壱岐商業の情報処理科を希望しました。高校では情報メディア部に所属し、放課後顧問の先生と一緒に情報処理について学んできました。昨年は上級生をおさえ県大会に出場し、全国大会を経験しました。全国大会のレベルの高さを知り、もっと勉強しなければいけないと痛感しました。昨年の大会から1年経ちました。がむしゃらに頑張ってきた1年間の成果を発揮し、入賞できるように頑張ります。

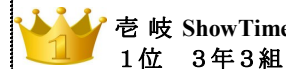
雨にも負けず 第38回 体育祭

例年体育祭は9月の中旬に開催されますが、本年度は諸事情により、7月上旬の開催となりました。ちょうどこの時期は梅雨の最中あたり計画の段階から天候が心配されていましたが、その心配が運悪くの中し当初予定されていた7月6日（日）は朝から雨でした。早朝6時に携帯のメールで雨天決行の連絡が入りました。しかし、朝から降り続いていた雨は小降りになるどころか激しくなり、運動場は競技ができる状態ではなくなりました。体育祭を延期しようにも台風接近により延期不能、急遽体育館で集団演技のみを発表することになりました。

雨天の中でしたが、沢山の保護者の方がお見えになっていました。体育館のギャラリー・舞台・フロアの周囲に多数の保護者をお迎えし生徒たちは見事に男・女別の集団演技を、3年生の各クラスは創意工夫を凝らした「壱岐 Show Time」を披露しました。今まで練習した成果を保護者の皆様の前で精一杯発表することができました。

【実施された競技】

- ①壱岐 Show Time
- ②1・2年 女子ダンス
- ③1・2年男子 集団行動・組体操
- ④一発逆転
- ⑤勝本の乱
- ⑥クラス対抗リレー
- ⑦ブロック対抗リレー



壱岐 ShowTime
1位 3年3組

さらに、1週間後の7月14日（月）に「第38.5回体育祭」と称し、種目を限定し体育祭を5・6校時に実施しました。前回すでに実施済みの集団演技に加えて、一発逆転（背渡りレース）、勝本の乱（騎馬戦）、クラス対抗リレー、ブロック対抗リレーなどが実施されました。行進や開会式はカットされましたが、生徒には満足感が残ったと思われます。それは最後の各ブロックの解団式の様子にも表れていました。最後の校長先生の言葉にもあったように高校生活の最高の思い出となったのは間違いありません。

雨天のため天気に応じて実施要項の改定をされた体育科の先生方、何回も設営作業を一生懸命にやってくれた生徒の皆さんご苦労さまでした。

野球部 夏の甲子園県予選 一回戦突破 長崎南に8回コールド勝ち・創成館に惜敗

高校球児の夏が始まりました。長崎県予選大会の開会式が7月11日（金）にビッグNで開催され、本校野球部は翌日12日（土）に佐世保球場で第1回戦を長崎南と試合を行い、8回コールド勝ちで2回戦へと駒を進めました。

長崎南は昨年も初戦で戦い接戦のうえ負けた対戦校です。野球部員からは、「今年こそはリベンジです」「昨年の借りを返します」などと闘志あふれる言葉が聞かれました。そのような意気込みを聞くと、今度の試合が昨年のリベンジとなる予感のようなものがありましたが、まさか8回コールド（9対1）という大差で勝つとは思っていませんでした。

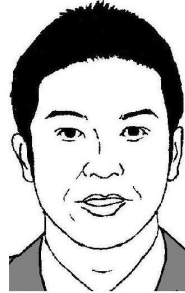


小川投手（声辺中出身）

第2試合は、7月16日（水）に、春の選抜も出場した創成館と戦いました。7月15日（火）の朝の印通寺発フェリーで出発、雨のために試合が順延になることも心配されましたが試合は予定通りにありました。5回に先制点を1点とられたものの、6回に1点を取り返し同点としたとの知らせが入った時は職員室に大きな歓声が起きました。残念ながら、その後追加点を入れられ試合は2-7で負けてしまいました。しかし、強豪校に対して、ひるむことなく粘り強く戦った壱岐商野球部に対し賞賛の言葉を贈りたいと思います。

本校野球部は、西岡監督と田中部長の指導のもと、小宮前監督が積み重ねてきた成果を生かしつつ、新しい練習も取り入れ大きく成長しました。日々の走りこみを増やすことで選手の体力面を強化し、部員のそれぞれに日々の練習記録をつけさせ精神面でのサポートにも全力を傾けた。夢に向かって頑張れ。頑張っている野球部は学校全体の活力となる！（写真は朝日新聞より）

目指せ、すべての生徒の進路実現！



進路指導部主任としてすべての生徒の進路実現を目指し頑張っています。

1・2年生は、今のうちから準備をすることが大切です。「後から考えればいいや」という考えを持っている人は要注意。今が大事ですよ。3年生は将来を決める大切な時期です。安易に考えるのではなく、先を見据えて、真剣に考え、よい選択をしていきましょう！
進路指導主事 伊藤 洋

企業訪問報告

様々な企業を訪問し、卒業生の職場での様子を伝えます。企業がどのような人材を求めているのかについて具体的な話を聞くことができます。今、企業が求めている人材は、コミュニケーション能力がある人、謙虚な人、向上心のある人、忍耐強い人などです。

就職模試

県内で就職を希望している全ての高校3年生が受験します。英語・数学・国語・社会の4教科から基本的な内容が出題され、県内での順位が出ます。本校生徒の基礎学力の不足が目立ちます。

求人票公開

今年は、7月4日に求人票が公開されました。求人票の見方については、2年次の学裁の時間などですでに学習していますが、実際のものを手にするときは真剣さが違います。

面接練習

実際の面接試験を想定し、面接練習を行います。本校進路指導部作成の「面接の手引き」を元に、実際の面接試験を想定し面接練習を行います。1回の練習ごとのアドバイスは役に立ちます。

夏季就職補習

3年生を対象に3週間補習を行います。基礎学力の向上を目的に実施しますが、3週間の学習だけでは不十分、早めに目標を決めて準備することが必要。

履歴書指導

履歴書を楷書で書くのは大変です。まっすぐに書くために数ミリごとに鉛筆で薄く横線を引いてから書くので、予想以上に時間がかかります。誤字、脱字があると書き直しです。10回以上書き直す生徒も毎年います。履歴書の免許・資格の欄に簿記や情報などの取得資格をいっぱい書くことができればいいですね。

卒業生講話

前年度の卒業生で壱岐島内で働いている先輩から就職までの苦勞、実際の職場での苦勞などについて話をしてもらいます。今年度はJA壱岐市で働いている田川陸斗さんから1年生に対し、在学中にしておくべきこと等についてアドバイスをもらいました。

ガイダンス

1回目は、職種・専門学校ごとに分かれ仕事内容や学校のカリキュラムについて実習を交えながら勉強します。2回目の時には初年度納入金や奨学金制度など学費が主なテーマです。

高校総体報告会

3年では遅すぎる
1・2年から高校総体に向けて練習だ！

男子バレー 1回戦敗退

1回戦、0-2で長崎北陽台高校に敗退。高校総体会場の熱気あふれる会場の雰囲気にもまれ、自分たちの力をだすことができずに負けてしまいました。2年前までは部員不足のため試合に出ることが危ぶまれていましたが、今チーム一丸となって頑張っています。来年に期待！

柔道 団体 予選リーグ敗退

個人 2回戦進出 村田典大・末永 淳
団体、個人共に勝つことができずに無念である。日頃から筋トレなどの体力作りをやってきたが、他校の選手を見て、自分たちがやってきたことはまだまだ不十分であると感じた。基本を忠実に練習に励みます。

卓球(男子) 1回戦敗退・個人戦 1ペア2回戦進出

1回戦、0-3で長崎東に敗退。個人戦で1年の松尾駿が2回戦進出。後輩の皆さん、僕たちの果たせなかった1回戦突破を果たして下さい。技術面でもっと研究が必要だと感じました。毎日練習を見て下さった顧問の下條先生、ありがとうございました。

ソフトテニス(男) 団体 2回戦進出

個人 酒井・久原ペア4回戦進出
団体戦は1回戦で長崎商業にあたり3-0で勝利、2回戦長崎明誠にあたり1-2で敗退。個人戦では酒井・久原ペアが4回戦に進出。4回戦まで進めたのは久しぶりだが、まだまだ力不足、この夏に力を蓄えます。

女子バレー 1回戦敗退

1回戦、1-2で五島高校に僅差で負けてしまいました。負けはしましたが、最後まで諦めず良い試合ができたと思います。5月の壱岐校との両高戦でも、僅差で負けて悔しかった。顧問の山口先生・佐々木先生と新チームで頑張り来年は良い結果を残せるようにしたい。

ソフトボール(女) 第3位

1回戦、大村高校に3回コールド勝ちベスト8。2回戦、長崎女子に勝利。準決勝は、九州文化学園と決勝進出をかけた対戦し敗退。まとまりのあるチームで技術も優れていたが、インターハイ連続出場の強豪校、九州文化学園にはかなわず敗退。しかし、最後までひるむことなく自分たちのプレーができて第3位になった。

卓球(女子) 1回戦敗退

1回戦、0-3で活水に敗退。昨年は1年生ばかりのチームで初めての大きな大会で緊張しましたが、今年は日ごろの練習の成果を発揮できました。しかし、技量の差があり昨年と同じ対戦校の活水にまた惨敗、今回の試合で学んだことを活かし夏の練習を頑張ります。

ソフトテニス(女)

団体 2回戦出場・個人 3回戦敗退
目標だった初戦突破ができました。また、個人戦においても2ペアが3回戦へ勝ち進むことができました。3年生にとっては悔いの残らない大会になりました。ご指導して下さいました。長山先生、岡本先生ありがとうございました。基本を大事にして、来年頑張ってください。

バスケット(女) 1回戦敗退

1回戦、54-80で海星に敗退。バスケット一筋の牟田先生のご指導、また島田先生の叱咤激励でパワーアップ。前半は会場の雰囲気にもまれて自分たちのプレーができずに残念。後半になり、得点差を縮め粘りのプレーを見せチームとしてまとまることできた。

陸上(男・女) 男子4×100Mリレー準決勝進出

吉本 翔 400m 準決勝進出
ほとんどの部員がベスト記録を更新。その中で準決勝進出を決めたのが男子リレーと、吉本翔だ。さらに、吉本翔は中上友星とともに200Mで予選通過を決めた。男子リレーのメンバー

中上友星・田口諒祐・岡田大輝・草合遥気

